

## 1. 魚介類調査結果

## 1. 魚介類調査

### 1.1 魚介類調査結果の概要

#### (1) 確認種

今回とりまとめを行った 48 水系 50 河川で確認された魚類は 17 目 65 科 266 種、エビ・カニ・貝類は 19 目 63 科 167 種でした。

魚類の確認種数が最も多かった一級河川は、中国地方の斐伊川の 93 種でした。二級河川では、東北地方の馬場目川の 54 種でした。

エビ・カニ・貝類の確認種数が最も多かった一級河川は、九州地方の矢部川の 64 種でした。二級河川では、九州地方の万之瀬川の 35 種でした。

#### (2) 特定種

今回とりまとめを行った 50 河川で確認された特定種は、魚類では天然記念物に指定されているアユモドキや絶滅危惧 IA 類に指定されているニッポンバラタナゴ等 44 種、エビ・カニ・貝類ではレッドリスト絶滅危惧 類に指定されているカワシンジュガイ等 14 種でした。

魚類の特定種の確認種数が最も多かった河川は、九州地方の矢部川の 12 種、次いで中部地方の矢作川、中国地方の旭川の 8 種でした。なお、矢部川と本明川で確認されたエツの記録は貴重であり、何らかの保全対策が必要であると考えられます。

エビ・カニ・貝類の特定種の確認種数が多かった河川は、東北地方の雄物川、中国地方の旭川の 4 種、次いで北海道地方の石狩川、東北地方の馬場目川、九州地方の矢部川の 3 種でした。

(注) 特定種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を特定種としました。

- ・ 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- ・ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種および緊急指定種
- ・ 環境省 編「日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック」掲載種 (2003：汽水・淡水魚類、2005：陸・淡水産貝類)
- ・ 環境省 編「レッドリスト」掲載種 (2006：その他無脊椎動物)

#### (3) 外来種

今回とりまとめを行った 50 河川で確認された外来種は、魚類ではニジマス、オオクチバス(ブラックバス)、ブルーギル等 11 種、エビ・カニ・貝類ではスクミリングガイ(ジャンボタニシ)、サカマキガイ、アメリカザリガニ等 13 種でした。

魚類の外来種の確認種数が最も多かった河川は、中部地方の矢作川及び近畿地方の大和川の 7 種、次に北海道地方の石狩川及び中部地方の雲出川の 6 種でした。地方別では、東北地方で 3 種と最も少なく、中部地方で 8 種と最も多く確認されました。

エビ・カニ・貝類の外来種の確認種数が多かった河川は、中部地方の矢作川の 6 種、次いで中国地方の旭川の 5 種でした。

(注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、外来種の選定には、資料 I.6 (26～27 ページ)および 28 ページに掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。